

第12回がん政策サミット【参考資料】

分野別指標マップ例

がん対策を評価する指標の例を、ロジックモデル（分野アウトカム、中間アウトカム、施策アウトプット）に当てはめることを試みた表。

【本表の目的】

- ・ 都道府県の第3次がん対策推進計画の分野目標の設定が、ストラクチャー指標やプロセス指標にとどまらず、アウトカム指標で計測される＝アウトカム志向になること。
- ・ 次期がん計画策定に関わる六位一体の関係者が作業をする際の支援となること。

【作業手順】

1. がん対策進捗管理指標一覧（「指標に見るわが国のがん対策」がん対策における進捗管理評価指標の策定と計測システムの確立に関する研究, 国立がん研究センターがん対策情報センター, 平成27年11月）の全指標から、特定のがんを対象としたものなど個別性の高い指標を除いた指標をマッピング。
2. ウェブサイトで公開されている都道府県の第2期がん対策推進計画中間報告で採用されている指標のうち、1にないもので、アウトカムを計測できると思われるものを抜粋して追加（施策アウトカム指標は膨大な数があるため、今回は作業に含まず）。

【おことわり】

- ・ 指標の設定については絶対的な正解はなく、このマップはがん政策サミット事務局による作業ですので、計画策定の際のひとつの参考としてご覧ください。
- ・ 都道府県の第2次がん対策推進計画中間評価については、すべてを閲覧できたことが担保できない状況です。よって、適切な指標があるにも関わらず採録しきれていない可能性もあります。
- ・ 書式とスペースの関係から、引用元に記載されていた文章の一部を要約、割愛している場合があります。
- ・ 県によって分野分類やロジックモデル構成の方針が異なるため、本表の記載配置場所がデータ源のそれとずれる場合もあります。
- ・ 県の指標につきましては、算出法を基準にしているため、分野によっては内容が細かく数が多いなどがあります。参考のためのリストと捉え、実際の使用に当たっては、目的とする中間アウトカムなどに重要性と関連性が高いものを重点的にご参照ください。

第12回がん政策サミット【参考資料】分野別指標マップ例

●本表の目的 1)都道府県の第3次がん対策推進計画の分野目標の設定が、ストラクチャー指標やプロセス指標にとどまらず、アウトカム指標で計測される＝アウトカム志向になること。 2)次期がん計画策定に関わる六位一体の関係者が作業をする際の支援となること。 ●おこわりの指標の設定については絶対的な正解はなく、このマップはがん政策サミット事務局による作業ですので、計画策定の際のひとつの参考としてご覧ください。都道府県の第2次がん対策推進計画中間評価については、すべてを閲覧できなかったことが担保できない状況です。よって、適切な指標があるにも関わらず採録しきれない可能性もあります。書式とスペースの関係から、引用元に記載されていた文章の一部を要約、割愛している場合があります。県によって分野分類やロジックモデル構成の方針が異なるため、本表の記載配置場所がデータ源のそれとずれる場合もあります。県の指標につきましては、算出法を基準にしているため、分野によっては内容が細かく数が多いなどがあります。参考のためのリストと捉え、実際の使用に当たっては、目的とする中間アウトカムなどに重要性和関連性が高いものを重点的にご参照ください

■分野1: 放射線治療、化学療法、手術療法のさらなる充実とチーム医療の推進

施策アウトプット指標				中間アウトカム指標				分野アウトカム指標			
指標名	算出法	データ源		指標名	算出法	データ源		指標名	算出法	データ源	
A18a	医師以外の職種がインフォームドコンセントに必ず参加する拠点病院の割合(インフォームドコンセント)	医師以外の職種がインフォームドコンセントに必ず参加する施設の割合	拠点病院現況報告	A19	セカンドオピニオンの説明を受けたがん患者の割合(セカンドオピニオン)	治療を開始する前に、医師からセカンドオピニオンを受けられることの説明を受けた人の割合	患者体験調査	全0	年齢調整死亡率		人口動態統計
A12	診療ガイドラインの数(診療ガイドラインの作成)	作成されているがん診療ガイドラインの数	日本医療機能評価機構医療情報サービスMind s.学会、がん情報サービス診療ガイドラインなどのデータベース	A19a	拠点病院のセカンドオピニオン外来受診件数(セカンドオピニオン)	過去1年間におけるセカンドオピニオン外来件数(セカンドオピニオンとして自費診療としてお金を徴収したものの)	拠点病院現況報告	全1	医療が進歩していることを実感できること	「一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べ進歩したと思う」と回答した患者の割合	患者体験調査の間32
A13	患者用診療ガイドラインの数(患者用診療ガイドラインの作成)	作成されている患者用がん診療ガイドラインの数	日本医療機能評価機構医療情報サービスMind s.学会、がん情報サービス診療ガイドラインなどのデータベース	A7a	経口抗悪性腫瘍剤の処方管理状況(副作用とその対処法の患者教育指導実施割合)	経口抗悪性腫瘍剤について正しい理解をしている患者の割合および理解度(正しい服用方法と副作用と対処法)	患者アンケート	A15a	拠点病院における5大がん(および他のがん)患者の5年生存率	5年生存率	院内がん登録
B17	ガイドラインの改訂(予防検診/診療/治療ガイドライン)	改訂/速報を過去1年に発行したガイドライン数	日本医療機能評価機構医療情報サービスMind sや学会への調査	A16	拠点病院に5大がん患者の診断から治療開始までの日数	診断日から治療開始までの平均日数	患者体験調査	A18	納得のいく治療選択ができたがん患者の割合(インフォームドコンセント)	「自分の治療について納得のいく治療を選択することができた」と回答した患者の割合	患者体験調査
A24	定期合同カンファレンスを実施している拠点病院の割合	2診療科以上の合同カンファレンスが2週間に1回以上の頻度で定期的を実施されている病院の割合	拠点病院現況報告	A37	希少がん患者の初診から診断、治療開始までの待ち時間(治療待ち時間)	初診日から診断日および治療開始日までの日数	がん患者アンケート(患者体験調査)	A11	標準的治療実施割合(標準的治療)	定められた標準治療が実施された割合	院内がん登録-DPC突合データ
A24a	横断的な医療チームによるがん治療サポート体制がある拠点病院の割合	臓器横断的な専門チーム(緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、感染制御チーム、褥瘡対策チーム、糖尿病サポートチーム等)が存在する拠点病院の割合	拠点病院現況報告	A41a	拠点病院に入院中のがん患者でリハビリテーションを受けた患者の割合(リハビリテーション)	リハビリテーション(理学療法・作業療法・言語聴覚療法のいずれか)を受けた患者の割合	院内がん登録+DPC/レセプトデータ	A14	拠点病院における5大がん患者の術後30日以内の死亡率(術死亡率)	術死亡率(術後30日以内の死亡)(リスク調整なし)	DPCデータ
A32b	がん患者・家族、市民へ講演会を実施した拠点病院の割合(治療への理解)	過去1年でがん患者・家族、又は、市民を対象にがん治療に関連した講演会や学習会を実施した拠点病院の割合	拠点病院現況報告	A23	拠点病院でがんセンターボードによって検討された患者の場合(海外の指標:がんセンターボード)	がんセンターボード(多職種かつ多専門科)によって話し合われた患者の割合	拠点病院現況報告	全5a	患者が、苦痛が制御された状態で、見直しをもって自分らしく日常生活をおくることができること(治療の見通)	ナシ	ナシ
A26f	リハビリテーション専門科医が配置されている拠点病院の割合(リハビリテーション)	リハビリテーションを専門に担当する医師が常勤で1人以上いる拠点病院の割合	拠点病院現況報告	A18e	妊孕性温存に関する情報が提供された40歳未満のがん患者の割合	妊孕性温存のための具体的な説明を受けた患者の割合	患者体験調査	全8	患者が個々のニーズに配慮され、尊厳が保たれ、切れ目なく十分な治療・支援を受けていると納得できること(切れ目のない治療)	ナシ	ナシ
A27	口腔ケアプロトコルが整備されている拠点病院の割合(がん患者の口腔ケア)	標準化された口腔内アセスメントと口腔ケアを行うためのプロトコルが両方ある施設の割合	拠点病院現況報告	奈良		がん治療で生じた安全問題を検討している拠点病院の割合	拠点病院現況報告	全9a	患者が、苦痛が制御された状態で、見直しをもって自分らしく日常生活をおくることができること(納得できる)	ナシ	ナシ
A26a	がん化学療法看護認定看護師が配置されている拠点病院の割合(がんの認定看護師)	がん化学療法看護認定看護師が常勤で1名以上勤務している拠点病院の割合	拠点病院現況報告	奈良	県内のがん診療連携拠点病院の県民治療カバー率		院内がん登録	奈良		医師による診療・治療内容に満足していると回答のあった人の割合	ならのがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)
A11c	がん治療で生じた安全問題を検討している拠点病院の割合(医療安全管理)	がん治療で生じた安全上の問題について事例を収集するシステムがあり、かつ、収集された事例を院内医療安全管理部等で最低2ヶ月に1度検討の場を設けていると回答した施設の割合	拠点病院現況報告	奈良		医師との対話に満足していると回答のあった人の割合	ならのがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)	沖縄	受けた医療の評価	80~100点の回答割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課「患者・家族のみなさまへ」

第12回がん政策サミット【参考資料】分野別指標マップ例

●本表の目的 1) 都道府県の第3次がん対策推進計画の分野目標の設定が、ストラクチャー指標やプロセス指標にとどまらず、アウトカム指標で計測される＝アウトカム志向になること。 2) 次期がん計画策定に関わる六位一体の関係者が作業をする際の支援となること。 ●おことわり 指標の設定については絶対的な正解はなく、このマップはがん政策サミット事務局による作業ですので、計画策定の際のひとつの参考としてご覧ください。都道府県の第2次がん対策推進計画中間評価については、すべてを閲覧できなかったことが担保できない状況です。よって、適切な指標があるにも関わらず採録しきれない可能性もあります。書式とスペースの関係から、引用元に記載されていた文章の一部を要約、割愛している場合があります。県によって分野分類やロジックモデル構成の方針が異なるため、本表の記載配置場所がデータ源のそれとずれる場合もあります。県の指標につきましても、算出法を基準にしているため、分野によっては内容が細かく数が多いなどがあります。参考のためのリストと捉え、実際の使用に当たっては、目的とする中間アウトカムなどに重要性和関連性が高いものを重点的にご参照ください。

■分野1: 放射線治療、化学療法、手術療法のさらなる充実とチーム医療の推進

施策アウトプット指標				中間アウトカム指標				分野アウトカム指標			
	指標名	算出法	データ源		指標名	算出法	データ源		指標名	算出法	データ源
A25a	がん診療を統括する診療部が設置されている拠点病院の割合(腫瘍センター)	がん診療を統括する診療部(がん診療部、腫瘍センターなど)が設置されている拠点病院の割合	拠点病院現況報告	奈良		診断や治療方針について、自分の疑問や意見を十分に伝えられたと回答のあった人の割合	ならのがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)	沖縄	年齢調整死亡率年平均変化率		National Cancer Institute. Joinpoint Trend Analysis Software
A3	直線加速器による定位放射線治療加算をとっている拠点病院(定位放射線治療)	直線加速器による定位放射線治療加算をとっている拠点病院の割合	拠点病院現況報告	沖縄	チーム医療の受療割合		患者調査	沖縄	医療県別超過死亡数		沖縄県衛生環境研究所企画管理班「沖縄の市町村別標準化死亡率(SMR)-1973-2012-」
A5	IMRT加算をとっている拠点病院の割合(IMRTの実施状況)	強度変調放射線治療(IMRT)加算をとっている拠点病院の割合	拠点病院現況報告	沖縄	医療スタッフが医師に意見できる割合	「がん患者のケアに関してね自分の意見を医師に対して自由に言える」と回答した医師以外の医療者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課「医療者のみなさまへ」	沖縄	市町村別超過死亡数		沖縄県衛生環境研究所企画管理班「沖縄の市町村別標準化死亡率(SMR)-1973-2012-」
A1	外来放射線照射診療料をとっている拠点病院の割合(放射線療法体制整備)	外来放射線照射診療料をとっている拠点病院の割合	拠点病院現況報告	沖縄	医療スタッフに医師が耳を傾ける割合	「他の医療スタッフの話にみみを傾けている」と回答した医師の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課「医療者のみなさまへ」				
A26c	放射線治療部門に専任看護師が配置されている拠点病院の割合(質の高い安全な放射線療法)	放射線治療部門の専任看護師が常勤で1名以上配置されている治療施設の割合	拠点病院現況報告	沖縄	医療スタッフに医師が耳を傾ける割合	「異業種間で自由に意見できる雰囲気である」と回答した医療者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課「医療者のみなさまへ」				
A26d	放射線治療専門医が配置されている拠点病院の割合(質の高い安全な放射線療法)	日本放射線腫瘍学会放射線治療専門医が常勤で1人以上いる拠点病院の割合	拠点病院現況報告	沖縄	医療スタッフに医師が耳を傾ける割合	「医師は必要な情報を医療スタッフと共有している」と回答した医療者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課「医療者のみなさまへ」				
A9	外来化学療法加算をとっている拠点病院の割合(外来化学療法の実施状況)	外来化学療法加算1をとっている拠点病院の割合	拠点病院現況報告	沖縄	医療スタッフに医師が耳を傾ける割合	「必要に応じて自分の職種以外の役割を補いつつ仕事をしよう」と回答した医療者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課「医療者のみなさまへ」				
A10b	化学療法レジメンを公開している拠点病院の割合(がんの治療計画)	「診療科別の全レジメンをホームページで公開している」と回答した拠点病院の割合	拠点病院現況報告	沖縄	医療スタッフに医師が耳を傾ける割合	「治療方針(告知等)の説明の際に、医師以外の職種も参加している」と回答した医療者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課「医療者のみなさまへ」				
A21a	抗がん剤のミキシングを90%以上薬剤師が担っている拠点病院の割合(医療安全管理)	抗がん剤のミキシングについて、90%以上で薬剤師が担っている拠点病院の割合	拠点病院現況報告								
A22	転移・再発5大がん患者の化学療法を内科医が担当している拠点病院の割合(外科医負担軽減、化学療法)	5大がん(胃・肺・肝・大腸・乳)の転移・再発症例の全身化学療法のうち、8割以上を内科医が主となり担当している施設の割合	拠点病院現況報告								
A26b	がん専門薬剤師又はがん薬物療法認定薬剤師が配置されている拠点病院の割合(がんの認定薬剤師)	がん専門薬剤師又はがん薬物療法認定薬剤師が常勤で1名以上勤務している拠点病院の割合	拠点病院現況報告								
A26e	がん薬物療法専門医が配置されている拠点病院の割合(化学療法の専門医)	がん薬物療法専門医が常勤で1名以上勤務している拠点病院の割合	拠点病院現況報告								
A8	拠点病院で化学療法オーダーを電子化している割合(化学療法の質と安全)	化学療法オーダーを電子化している施設の割合	拠点病院現況報告								
A10a	化学療法で院内登録レジメン制度を運用している拠点病院の割合	院内登録レジメン制度を運用している施設の割合	拠点病院現況報告								

第12回がん政策サミット【参考資料】分野別指標マップ例

●本表の目的 1)都道府県の第3次がん対策推進計画の分野目標の設定が、ストラクチャー指標やプロセス指標にとどまらず、アウトカム指標で計測される＝アウトカム志向になること。 2)次期がん計画策定に関わる六位一体の関係者が作業をする際の支援となること。 ●おことわり 指標の設定については絶対的な正解はなく、このマップはがん政策サミット事務局による作業ですので、計画策定の際のひとつの参考としてご覧ください。都道府県の第2次がん対策推進計画中間評価については、すべてを閲覧できなかったことが担保できない状況です。よって、適切な指標があるにも関わらず採録しきれない可能性もあります。書式とスペースの関係から、引用元に記載されていた文章の一部を要約、割愛している場合があります。県によって分野分類やロジックモデル構成の方針が異なるため、本表の記載配置場所がデータ源のそれぞれと異なる場合もあります。県の指標につきましても、算出法を基準にしているため、分野によっては内容が細かく数が多いなどがあります。参考のためのリストと捉え、実際の使用に当たっては、目的とする中間アウトカムなどに重要性和関連性が高いものを重点的にご参照ください。

■分野1: 放射線治療、化学療法、手術療法のさらなる充実とチーム医療の推進

施策アウトプット指標				中間アウトカム指標			分野アウトカム指標		
	指標名	算出法	データ源	指標名	算出法	データ源	指標名	算出法	データ源
A10c	化学療法患者にジェネリック医薬品を使う選択肢を提示している拠点病院の割合(後発医薬品の使用)	化学療法患者に対しジェネリックを使う選択肢を常に患者に提示している回答をした拠点病院の割合	拠点病院現況報告						
A26g	病棟薬剤業務実施加算を算定している拠点病院の割合(薬物療法の質)	病棟薬剤業務実施加算を算定している拠点病院の割合	拠点病院現況報告						
A11b	拠点病院における手術・化学療法クリティカルパスのバリアンス分析実施状況(クリティカルパス)	調査により、設定しているクリティカルパスについて、バリアンス割合を算定して報告した拠点病院の割合	拠点病院現況報告						
A9	外来化学療法加算をとっている拠点病院の割合(外来化学療法の実施状況)	外来化学療法加算1を取っている拠点病院の割合	拠点病院現況報告						
A21a	抗がん剤のミキシングを90%以上薬剤師が担っている拠点病院の割合(医療安全管理)	抗がん剤のミキシングを90%以上薬剤師が担っている拠点病院の割合	拠点病院現況報告						
A22	転移・再発5大がん患者の化学療法を内科医が担当している拠点病院の割合(外科医の負担軽減、化学療法)	5大がんの転移・再発症例の全身化学療法のうち、8割以上を内科医が主となり担当している施設の割合	拠点病院現況報告						
A25	臓器横断的ながん臨床教育制度がある都道府県がん診療連携拠点病院の割合(臓器横断的教育体制)	臨床腫瘍学講座のように、臓器横断的ながん臨床教育制度(3診療科以上のローテーション)がある施設	拠点病院現況報告						
A30a	拠点病院で地域連携室等に専従・専任で配置されている人員数	地域連携室等に専従・専任で配置されている人員数(病床数あたりに換算)	拠点病院現況報告						
A18d	若年がん患者の妊孕性温存処置ができる拠点病院の割合	妊孕性温存のための具体的な処置ができる、あるいは他施設を紹介している施設の割合	拠点病院現況報告						
A38	希少がんガイドラインがある希少がんの割合(診療ガイドライン)	診療ガイドラインがある希少がんの割合	日本医療機能評価機構医療情報サービスMinds、学会、がん情報サービス>診察ガイドラインなどのデータベース						
A41	病理専門医が1名以上配置されている拠点病院の割合(病理診断医の不足)	全ての勤務日に日本病理学会病理専門医が1名以上いる施設の割合(常勤の病理専門医が1人以上いる施設、として算出)	拠点病院現況報告						
A41b	外来でがん患者にリンパ浮腫ケアを実施している拠点病院の割合	外来にてリンパ浮腫や末期がん患者の浮腫へのケアを実施している病院の割合	拠点病院現況報告						
沖縄	レジメン審査率	100%の医療機関数							
沖縄	レジメン登録率	100%の医療機関数							

第12回がん政策サミット【参考資料】分野別指標マップ例

●本表の目的 1)都道府県の第3次がん対策推進計画の分野目標の設定が、ストラクチャー指標やプロセス指標にとどまらず、アウトカム指標で計測される＝アウトカム志向になること。 2) 次期がん計画策定に関わる六位一体の関係者が作業をする際の支援となること。 ●おこ
とわり 指標の設定については絶対的な正解はなく、このマップはがん政策サミット事務局による作業ですので、計画策定の際のひとつの参考としてご覧ください。都道府県の第2次がん対策推進計画中間評価については、すべてを閲覧できなかったことが担保できない状況です。よっ
て、適切な指標があるにも関わらず採録しきれていない可能性もあります。書式とスペースの関係から、引用元に記載されていた文章の一部を要約、割愛している場合があります。県によって分野分類やロジックモデル構成の方針が異なるため、本表の記載配置場所がデータ源の
それとずれる場合もあります。県の指標につきましては、算出法を基準にしているため、分野によっては内容が細かく数が多いなどがあります。参考のためのリストと捉え、実際の使用に当たっては、目的とする中間アウトカムなどに重要性和関連性が高いものを重点的にご参照
ください

■分野2: がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成

施策アウトプット指標			中間アウトカム指標				分野アウトカム指標			
指標名	算出法	データ源	指標名	算出法	データ源	指標名	算出法	データ源		
A18b	医療従事者ががん告知や余命告知のために研修を実施している(マニュアル等がある)拠点病院の割合	がん告知や余命告知等を行う際のコミュニケーション研修やマニュアル等があった拠点病院の割合	沖縄	専門医療従事者の充足率		測定検討中	全7	患者が個々のニーズに配慮され、尊厳が保たれ、切れ目なく十分な治療・支援を受けていると納得できる	患者体験調査	
			沖縄	診断や治療への疑問割合	「これまでの診断や治療に疑問をいただいたことがあった」と回答した患者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課。「患者・家族のみなさまへ」	沖縄	希望に合う医療の提供割合	「医療スタッフは、自分の希望に沿った医療を提供してくれた」と回答した患者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課。「患者・家族のみなさまへ」
			沖縄	患者に耳を傾けた対応があつた割合	「医療スタッフは耳を傾け、自分が置かれている状況を踏まえて対応している」と回答した患者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課。「患者・家族のみなさまへ」	沖縄	専門医不足感の割合	「沖縄県でがん医療を提供するとき、専門医の不足を感じる」と回答した医療者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課。「医療者のみなさまへ」
			沖縄	患者に耳を傾けて対応する割合	「患者の話に耳を傾け、患者が置かれている状況を踏まえて対応している」と回答した医療者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課。「医療者のみなさまへ」	沖縄	専門医不足感の割合	「沖縄県でがん医療を提供するとき、医師以外の専門的な医療従事者の不足を感じる」と回答した医療者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課。「医療者のみなさまへ」
							沖縄	罹患者数あたりの専門医療者数	罹患者1000人あたりの各専門医療者数(職能団体、学会等の発表値)	

第12回がん政策サミット【参考資料】分野別指標マップ例

●本表の目的 1)都道府県の第3次がん対策推進計画の分野目標の設定が、ストラクチャー指標やプロセス指標にとどまらず、アウトカム指標で計測される＝アウトカム志向になること。 2)次期がん計画策定に関わる六位一体の関係者が作業をする際の支援となること。 ●おこ
とわり 指標の設定については絶対的な正解はなく、このマップはがん政策サミット事務局による作業ですので、計画策定の際のひとつの参考としてご覧ください。都道府県の第2次がん対策推進計画中間評価については、すべてを閲覧できたことが担保できない状況です。よっ
て、適切な指標があるにも関わらず採録しきれていない可能性もあります。書式とスペースの関係から、引用元に記載されていた文章の一部を要約、割愛している場合があります。県によって分野分類やロジックモデル構成の方針が異なるため、本表の記載配置場所がデータ源
のそれとずれる場合もあります。県の指標につきましては、算出法を基準にしているため、分野によっては内容が細かく数が多いなどがあります。参考のためのリストと捉え、実際の使用に当たっては、目的とする中間アウトカムなどに重要性和関連性が高いものを重点的にご参
照ください

■分野3: がんと診断された時からの緩和ケアの推進

施策アウトプット指標				中間アウトカム指標				分野アウトカム指標			
指標名	算出法	データ源		指標名	算出法	データ源		指標名	算出法	データ源	
緩和ケア専門人員の配置)専門・認定看護師の専門分野への配置	緩和ケア領域の専門分野の仕事に専任および専従として従事している割合	専門・認定看護師調査【日本看護協会調べ】	緩和5	(緩和ケア専門サービス普及)専門的緩和ケアサービスの利用状況	過去1年間に緩和ケア病棟・院内緩和ケアチーム・緩和ケア外来(機能強化型)在宅療養支援診療所(機能強化型)訪問看護ステーションを利用したがん患者数(延べ数)	医療施設調査等	全2a	患者が苦痛の制御された状態で、見通しをもって自分らしく日常生活をおくることができること(からだの苦痛)	「問44a.現在の心身の状態についてお答えください。からだの苦痛がある。」という問いに対し、4.あまりそう思わない、または、5.そう思わないと回答した患者の割合	患者体験調査の間44a	
(一般医療者に対する教育)緩和ケア研修修了者数	「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」の修了医師数	厚生労働省	緩和6	(緩和ケアに関する地域連携)地域多職種カンファレンスの開催状況	都道府県内で緩和ケアに関する地域の多職種連携カンファレンスを開催した回数	がん診療連携拠点病院【拠点病院の現況報告】	全2b	患者が苦痛の制御された状態で、見通しをもって自分らしく日常生活をおくることができること(痛み)	「問44b.現在の心身の状態についてお答えください。痛みがある。」という問いに対し、4.あまりそう思わない、または、5.そう思わないと回答した患者の割合	患者体験調査の間44b	
			緩和3	(医療用麻薬の利用状況)主要経口・経直腸・経皮医療用麻薬消費量	主要な医療用麻薬(経口モルヒネ+経腸モルヒネ+経口オキシコドン+経皮フentanyl)の消費量(kg/年)	厚生労働省	全3	患者が苦痛の制御された状態で、見通しをもって自分らしく日常生活をおくることができること(気持ちのつらさ)	「問44c.現在の心身の状態についてお答えください。気持ちがつらい。」という問いに対し、4.あまりそう思わない、または、5.そう思わないと回答した患者の割合	患者体験調査の間44c	
			緩和7	(一般市民への普及)一般市民の緩和ケアの認識	「がん医療における緩和ケアとは、がんに伴う体と心の痛みを和らげるということをよく知っている」、「がんに対する緩和ケアはがんと診断されたときから実施されるべきもの」とそれぞれ回答した割合	がん対策に関する世論調査	全4	患者が苦痛が制御された状態で、見通しをもって自分らしく日常生活をおくることができること(自分らしい生活)	「問45.現在自分らしい日常生活を送れていると感じていますか?」という問いに対し、1.そう思う、または2.ややそう思うと回答した患者の割合	患者体験調査の間45	
			緩和8	(一般市民への普及)一般市民の医療用麻薬に対する認識	「がんの痛みに対して使用する医療用麻薬は精神的依存や生命予後に影響せず、安全に使用できる」と回答した割合	がん対策に関する世論調査	全5a	患者が苦痛が制御された状態で、見通しをもって自分らしく日常生活をおくることができること(治療の見通し)	「問18.これまで治療を受ける中で、医療スタッフから治療スケジュールの見通しに関する情報は、得られましたか?」という問いに対し、1.十分得られた、または2.ある程度得られたと回答した患者の割合	患者体験調査の間18	
			奈良	拠点病院における地域多職種カンファレンスの開催状況		拠点病院現況報告	全5b	患者が苦痛が制御された状態で、見通しをもって自分らしく日常生活をおくることができること(生活の見通し)	「問19.これまでで入院治療を受けた時、医療スタッフから退院後の生活の見通しに関する情報は、得られましたか?」という問いに対し、1.十分得られた、または2.ある程度得られたと回答した患者の割合	患者体験調査の間19	
			奈良	緩和ケアの認知度	緩和ケアはがんと診断された時から受けるものだと知っている人の割合	ならのがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)	緩和10	(がん患者のQOL)がん患者のからだのつらさ	「問44a.現在の心身の状態についてお答えください。からだの苦痛がある。」という問いに対し、4.あまりそう思わない、または、5.そう思わないと回答した患者の割合	患者体験調査の間44a	

第12回がん政策サミット【参考資料】分野別指標マップ例

●本表の目的 1)都道府県の第3次がん対策推進計画の分野目標の設定が、ストラクチャー指標やプロセス指標にとどまらず、アウトカム指標で計測される＝アウトカム志向になること。 2)次期がん計画策定に関わる六位一体の関係者が作業をする際の支援となること。 ●おこ
とわり 指標の設定については絶対的な正解はなく、このマップはがん政策サミット事務局による作業ですので、計画策定の際のひとつの参考としてご覧ください。都道府県の第2次がん対策推進計画中間評価については、すべてを閲覧できなかったことが担保できない状況です。よっ
て、適切な指標があるにも関わらず採録しきれていない可能性もあります。書式とスペースの関係から、引用元に記載されていた文章の一部を要約、割愛している場合があります。県によって分野分類やロジックモデル構成の方針が異なるため、本表の記載配置場所がデータ源
のそれとずれる場合もあります。県の指標につきましては、算出法を基準にしているため、分野によっては内容が細かく数が多いなどがあります。参考のためのリストと捉え、実際の使用に当たっては、目的とする中間アウトカムなどに重要性和関連性が高いものを重点的にご参
照ください

■分野3: がんと診断された時からの緩和ケアの推進

施策アウトプット指標			中間アウトカム指標			分野アウトカム指標				
指標名	算出法	データ源	指標名	算出法	データ源	指標名	算出法	データ源		
			奈良	緩和ケアの認知度	緩和ケアについて知っている人の割合	奈良のがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)	緩和11	(がん患者のQOL)がん患者の疼痛 「問44b 現在の心身の状態についてお答えください。痛みがある。」という問いに対し、4.あまりそう思わない、または、5.そう思わないと回答した患者の割合	患者体験調査の間44b	
			奈良	通院・入院中のがん患者満足度 在宅療養中のがん患者・家族の満足度	在宅緩和ケアを希望し、実現可能だと回答のあった人の割合	奈良のがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)／奈良のがん在宅療養に関する患者・家族意識調査	緩和12	(がん患者のQOL)がん患者の気持ちのつさ 「問44c 現在の心身の状態についてお答えください。気持ちがつかない。」という問いに対し、4.あまりそう思わない、または、5.そう思わないと回答した患者の割合	患者体験調査の間44c	
			沖縄	痛みのスクリーニング実施施設数	身体的痛みのスクリーニングを、すべての入院患者に対して連日行っている医療機関数		緩和13	(終末期がん患者の緩和ケアの質)医療者の対応の質 「医療者は、患者のつらい症状にすみやかに対応していた」と回答した割合	遺族調査	
			沖縄	痛みのスクリーニング実施施設数	身体的痛みのスクリーニングを、すべての外来患者に対して毎回行っている医療機関数		緩和1	(死亡場所)死亡場所(自宅)	がん患者の自宅死亡割合	人口動態調査
			沖縄	痛みの相談ができた割合	「痛みがあったらすぐに医療スタッフに痛みを相談できた」と回答した患者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課。「患者・家族のみなさまへ」	緩和2	(死亡場所)死亡場所(施設)	がん患者の施設死亡割合	人口動態調査
			沖縄	痛みの評価を実施している割合	担当するがん患者の精神的痛みを含む痛みの評価を辞している割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課。「医療者のみなさまへ」	緩和14	(終末期がん患者のQOL)終末期がん患者の療養場所の選択	患者は、望んだ場所で過ごせた」と回答した割合	遺族調査
			沖縄	痛みの評価を実施している割合	「従事している施設の緩和ケアレベルが3年前より向上した」と回答した医療者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課。「医療者のみなさまへ」	緩和15	(家族ケア)家族の介護負担感	「介護をしたことで負担感が大きかった」と回答した割合	人口動態調査
			沖縄	痛みの評価を実施している割合	「従事している施設でがん患者に対する意思決定支援が実施されている」と回答した医療者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課。「医療者のみなさまへ」	奈良	通院・入院中のがん患者満足度 在宅療養中のがん患者・家族の満足度	痛みなどの身体症状を和らげる対応に満足した(症状が改善した)と回答のあった人の割合	奈良のがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)／奈良のがん在宅療養に関する患者・家族意識調査
							奈良	通院・入院中のがん患者満足度 在宅療養中のがん患者・家族の満足度	緩和ケアは希望に応じてすぐに提供されたと回答のあった人の割合(身体的症状)	奈良のがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)／奈良のがん在宅療養に関する患者・家族意識調査
							奈良	通院・入院中のがん患者満足度 在宅療養中のがん患者・家族の満足度	緩和ケアは希望に応じてすぐに提供されたと回答のあった人の割合(精神的症状)	奈良のがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)／奈良のがん在宅療養に関する患者・家族意識調査
							奈良	通院・入院中のがん患者満足度 在宅療養中のがん患者・家族の満足度	自宅で(家族と)生活できることに満足している」と回答のあった人の割合	奈良のがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)／奈良のがん在宅療養に関する患者・家族意識調査
							沖縄	除痛率		策定検討中

第12回がん政策サミット【参考資料】分野別指標マップ例

●本表の目的 1)都道府県の第3次がん対策推進計画の分野目標の設定が、ストラクチャー指標やプロセス指標にとどまらず、アウトカム指標で計測される＝アウトカム志向になること。 2)次期がん計画策定に関わる六位一体の関係者が作業をする際の支援となること。 ●おこ
とわり 指標の設定については絶対的な正解はなく、このマップはがん政策サミット事務局による作業ですので、計画策定の際のひとつの参考としてご覧ください。都道府県の第2次がん対策推進計画中間評価については、すべてを閲覧できたことが担保できない状況です。よ
つて、適切な指標があるにも関わらず採録しきれていない可能性もあります。書式とスペースの関係から、引用元に記載されていた文章の一部を要約、割愛している場合があります。県によって分野分類やロジックモデル構成の方針が異なるため、本表の記載配置場所がデータ源
のそれとずれる場合もあります。県の指標につきましても、算出法を基準にしているため、分野によっては内容が細かく数が多いなどがあります。参考のためのリストと捉え、実際の使用に当たっては、目的とする中間アウトカムなどに重要性と関連性が高いものを重点的にご参
照ください

■分野4: 地域の医療・介護サービス提供体制の構築

施策アウトプット指標			中間アウトカム指標			分野アウトカム指標			
指標名	算出法	データ源	指標名	算出法	データ源	指標名	算出法	データ源	
A30a	拠点病院で地域連携室等に専従・専任で配置されている人員数	地域連携室等に専従・専任で配置されている人員数(病床数あたりに換算)	A29	拠点病院から地域医療機関に紹介された患者で別の医療機関に通院した者の割合(拠点病院地域連携)	地域医療機関に受信後、2ヶ月以内に別の医療機関で通院開始した人の割合	全8	患者が個々のニーズに配慮され、尊厳が保たれ、切れ目なく十分な治療・支援を受けていると納得できること(切れ目のない治療)	「間14.病院から診療所・在宅医療(看護も含む)へ移った際、病院での診療方針が診療所・訪問看護ステーションへ円滑に引き継がれたと思いませんか?」という問いに対し、1.そう思う、または2.ややそう思うと回答した患者の割合	患者体験調査の間14
			A31	地域の医療施設のうち拠点病院が適切な連携を行っていると感じた施設の割合(拠点病院地域連携)	「地域のがん診療連携拠点病院が、適切な連携・サポートを行っている」と回答した施設の割合	A36	在宅療養中のがん患者の医療に対する満足度(がん患者の在宅医療)	「必要な医療を十分に受けている」と答えた患者	遺族アンケート調査
			A32	拠点病院医師らと在宅療養担当医師らとの合同カンファレンス実施割合(在宅療養との連携)	拠点病院の医師または看護師と在宅療養を担う医師または看護師とで退院時合同カンファレンスが行われた割合	奈良	がん治療に関する在宅医の満足度	在宅療養について満足、やや満足と回答のあった人の割合	ならのがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)/ならのがん在宅医療に関する患者・家族意識調査
			A17	5大がん患者の自園内受療率(地域完結型医療体制)	患者の住所と同じ二次保健医療圏内の医療施設でのがん治療(手術・化学・放射線全て)受療率	奈良	訪問医療、訪問看護、介護支援等の満足度	医師の訪問診療について満足、やや満足と回答のあった人割合/訪問看護の訪問について満足、やや満足と回答のあった人の割合	ならのがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)/ならのがん在宅医療に関する患者・家族意識調査
			A34	在宅療養中のがん患者で必要時医療従事者に連絡が取れる場合の割合(がん患者の在宅医療)	「必要な時に自分の病状を知っている医療従事者に連絡を取ることができる」と答えた患者の割合	奈良	住み慣れた地域での生活の満足度		ならのがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)/ならのがん在宅医療に関する患者・家族意識調査
			A35	介護保険を利用している40～64歳のがん患者の介護サービス満足度(がん患者の介護サービス)	「必要な介護サービスを十分に受けている」と答えた割合	奈良	がんの情報や相談に関する満足度		ならのがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)/ならのがん在宅医療に関する患者・家族意識調査
			奈良	在宅緩和ケアについて希望し、実施可能だと思う人の割合		奈良	ならのがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)/ならのがん在宅医療に関する患者・家族意識調査	「何ら支障なく、紹介先の医療機関を受診できた」と回答した患者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課「患者・家族のみなさまへ」
			奈良	在宅療養中のがん患者で病院と訪問診療の医師やかかりつけ医が連携している割合	病院から診療所・在宅医療へ移った際、病院での資料方針が診療所・訪問看護ステーションに引き継がれたと回答のあった人の割合	沖縄	医療機関連携に困難感ありの割合	「がん医療を行っていくうえで、他の医療機関との連携に困難感がある」と回答した医療者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課「医療者のみなさまへ」
			奈良	病院とかかりつけ医が連携して診療する制度を知っている人の割合	在宅療養で病院とかかりつけ医等が連絡票を使って連携していると回答のあった人の割合	沖縄	医療機関連携に困難感ありの割合	「専門医療機関に対してがん患者を紹介したときに受け入れてもらえる」と回答した医療者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課「医療者のみなさまへ」

第12回がん政策サミット【参考資料】分野別指標マップ例

●本表の目的 1)都道府県の第3次がん対策推進計画の分野目標の設定が、ストラクチャー指標やプロセス指標にとどまらず、アウトカム指標で計測される＝アウトカム志向になること。 2)次期がん計画策定に関わる六位一体の関係者が作業をする際の支援となること。 ●おこ
とわり 指標の設定については絶対的な正解はなく、このマップはがん政策サミット事務局による作業です。計画策定の際のひとつの参考としてご覧ください。都道府県の第2次がん対策推進計画中間評価については、すべてを閲覧できたことが担保できない状況です。よっ
て、適切な指標があるにも関わらず採録しきれていない可能性もあります。書式とスペースの関係から、引用元に記載されていた文章の一部を要約、割愛している場合があります。県によって分野分類やロジックモデル構成の方針が異なるため、本表の記載配置場所がデータ源
のそれとずれる場合もあります。県の指標につきましては、算出法を基準にしているため、分野によっては内容が細かく数が多いなどがあります。参考のためのリストと捉え、実際の使用に当たっては、目的とする中間アウトカムなどに重要性と関連性が高いものを重点的にご参
照ください

■分野4: 地域の医療・介護サービス提供体制の構築

施策アウトプット指標			中間アウトカム指標			分野アウトカム指標			
指標名	算出法	データ源	指標名	算出法	データ源	指標名	算出法	データ源	
			奈良	拠点病院医師と在宅療養 担当医を交えた合同カン ファレンスの実施割合		沖縄	医療機関連携に困難感あ りの割合	「他院に患者を紹介した際 に、その後の経過について 紹介先医療機関からの情 報提供がある」と回答した 医療者の割合	沖縄県保健医療部保健 医療政策課。「医療者の みなさまへ」
			奈良	在宅療養中のがん患者で、 必要時入用従事者に連絡 が取れる者の割合	ならのがんに関する患 者意識調査(入院・通院 患者)	沖縄	医療機関連携に困難感あ りの割合	「より専門的な医療機関へ がん患者を紹介するとき に、どの医療機関に紹介 するかを決めるための情報 が足りない」と回答した医療 者の割合	沖縄県保健医療部保健 医療政策課。「医療者の みなさまへ」
			奈良	がん患者の退院カンファ レンス等、がん診療病院から 何らかの連絡があった施設 の割合	一般施設アンケート	沖縄	医療機関連携に困難感あ りの割合	「がん患者を定期的なフォ ローアップのために紹介す るときに、どの医療機関に 紹介するかを決めるための 除法が足りない」と回答した 医療者の割合	沖縄県保健医療部保健 医療政策課。「医療者の みなさまへ」
			奈良	通院・入院中のがん患者満 足度	自宅での療養生活につい ての情報が不十分ではな いと回答した人の割合				
			奈良	在宅療養についての認知 度	在宅医療を知っていると回 答した人の割合				
			奈良	緊急時の体制への安心度	緊急時に訪問診療医師へ 連絡がとれると回答のあつ た人の割合				
			島根	地域連携クリティカルパス の適用者数					
			沖縄	連携先での主治療カバー 率	がん拠点病院、およびがん 診療連携支援病院、専門 医療機関の主治療カバー 率			がん登録データ	
			沖縄	在宅看取り希望達成率	在宅看取り希望達成率			測定検討中	
			沖縄		ベストサポーターケアに 移行した、退院がん患者に おける、退院前カンファレ ンスが実施されたがん患者の 割合			測定検討中	
			沖縄		ベストサポーターケアに 移行した、退院がん患者に おける、訪問看護に移行し た症例の割合			測定検討中	
			沖縄	在宅医療に移行した割合	担当するがん患者で、在宅 医療を希望された患者のう ち、在宅医療に移行した症 例の割合			測定検討中	

第12回がん政策サミット【参考資料】分野別指標マップ例

●本表の目的 1)都道府県の第3次がん対策推進計画の分野目標の設定が、ストラクチャー指標やプロセス指標にとどまらず、アウトカム指標で計測される＝アウトカム志向になること。 2)次期がん計画策定に関わる六位一体の関係者が作業をする際の支援となること。 ●おこ
とわり 指標の設定については絶対的な正解はなく、このマップはがん政策サミット事務局による作業ですので、計画策定の際のひとつの参考としてご覧ください。都道府県の第2次がん対策推進計画中間評価については、すべてを閲覧できたことが担保できない状況です。よ
つて、適切な指標があるにも関わらず採録しきれていない可能性もあります。書式とスペースの関係から、引用元に記載されていた文章の一部を要約、割愛している場合があります。県によって分野分類やロジックモデル構成の方針が異なるため、本表の記載配置場所がデータ源
それとずれる場合もあります。県の指標につきましては、算出法を基準にしているため、分野によっては内容が細かく数が多いなどがあります。参考のためのリストと捉え、実際の使用に当たっては、目的とする中間アウトカムなどに重要性と関連性が高いものを重点的にご参照
ください

■分野5: がんに関する相談支援と情報提供

施策アウトプット指標				中間アウトカム指標				分野アウトカム指標			
指標名	算出法	データ源		指標名	算出法	データ源		指標名	算出法	データ源	
C1	がん相談支援センターが設置されている2次医療圏の割合(相談支援センター)	国と同等の指定要件を満たすがん相談支援センターが設置されている二次医療圏数	研究班独自調査(現況報告+都道府県への庁間取り調査)	全12	正確で、患者のつらさに配慮した生き方を選べるような情報提供がきちんと提供されること	「問35.あなたは、自分が思うような日常生活を送るのに必要な情報を得られていると思いますか?」という問いに対し、1.そう思う、または2.ややそう思うと回答した患者の割合	患者体験調査の間35	全9b	患者が、苦痛が制御された状態で、見通しをもって自分らしく日常生活をおくることができること(納得できる支援)	「これまで受けた支援(医療機関、行政、職場、家族、友人などによる)に納得している」と回答した患者の割合	患者体験調査の間43
C6b	サポートグループや患者・家族対象の学習会等を実施している拠点病院の割合(拠点病院の患者会等への支援状況)	サポートグループや患者・家族対象の学習会といった情報提供の場をもっている拠点病院の割合	拠点病院現況報告	全13	相談できる環境があると感じること	「問23.がんと診断されたとき、病気のことや療養生活に関する様々な疑問について相談できる場がありましたか?」という問いに対し、1.あった、と回答した患者の割合	患者体験調査の間23	C4d	拠点病院のがん相談支援センターの利用者満足度	センター利用後に、「安心」「満足」「役に立った」の回答した者の割合	がん患者アンケート(患者体験調査)
C1a	がん相談支援センターに専従の相談員が配置されている拠点病院の割合(相談支援センターへの人材配置)	転院や退院調整の業務担当者とは別に、「がん相談」に専従(業務の80%以上)している相談支援センター専従の相談員がいる施設の割合	拠点病院現況報告	C5	拠点病院の初発がん患者のうち必要な治療等の情報が得られた者の割合(治療中に必要な情報)	「必要な治療・副作用・合併症とその対処に関する情報が十分得られた」と回答した患者の割合	がん患者アンケート(患者体験調査)	沖縄	心配や悩みの軽減の割合	「がんと診断されたことによる心配や悩みは、何らかの支援によって現在は軽減された」と回答した患者の割合	
C1c	医療ソーシャルワーカーおよび看護師が配置されている拠点病院の相談支援センターの割合(臨床心理士・MSW)	医療ソーシャルワーカー(社会福祉士、精神福祉士)および看護師が専任/専従で配置されている割合	拠点病院現況報告	C6	拠点病院の初発がん患者のうち受診施設から治療選択に必要な情報が得られた者の割合	「診断から治療を決めるまでの間で受診施設から治療選択に必要な情報が十分に得られた」と回答した患者の割合	がん患者アンケート(患者体験調査)				
C4g	ピアサポーターによる相談支援を実施している拠点病院の割合	国の標準プログラムに基づく研修を修了したピアサポーターによる相談支援を導入していると答えた拠点病院の割合	拠点病院現況報告	奈良	拠点病院のがん相談支援センターにおける利用者の満足度		がん相談支援センター利用状況調査(拠点病院実施)				
C2	がん対策情報センターで情報提供している拠点病院の診療実績等の項目数(拠点病院の診療実績)	がん対策情報センターにて情報提供している拠点病院の診療実績等の項目数	国立がん研究センターがん対策情報センター	奈良	がん情報についての認知度		ならのがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)				
C3b	拠点病院の診療実績数を情報提供されている希少がんの数(希少がんの情報提供)	拠点病院での診療実績数が情報提供されている希少がんの数	国立がん研究センターがん対策情報センター	奈良	がん関連情報についての情報が、不十分でないとした人の割合		ならのがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)				
島根	がん相談相談支援センターの認知度		がん患者の就労等に関する実態調査	奈良	通院・入院中のがん患者満足度	がんの治療法についての情報に満足している人の割合	ならのがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)				
島根	県ホームページへのアクセス数			奈良	通院・入院中のがん患者満足度	病院の診療体制の情報に満足している人の割合	ならのがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)				
島根	相談支援センターの院外相談件数			奈良		相談窓口・情報アクセス手段がある人の割合	ならのがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)				
島根	相談支援センターの患者サロン参加者数			沖縄	情報や支援を受けられた割合	「自分が思うような日常生活を送るのに必要な情報や支援を得られた」と回答した患者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課「患者・家族のみなさまへ」				

第12回がん政策サミット【参考資料】分野別指標マップ例

●本表の目的 1)都道府県の第3次がん対策推進計画の分野目標の設定が、ストラクチャー指標やプロセス指標にとどまらず、アウトカム指標で計測される＝アウトカム志向になること。 2)次期がん計画策定に関わる六位一体の関係者が作業をする際の支援となること。 ●おこ
とわり 指標の設定については絶対的な正解はなく、このマップはがん政策サミット事務局による作業ですので、計画策定の際のひとつの参考としてご覧ください。都道府県の第2次がん対策推進計画中間評価については、すべてを閲覧できなかったことが担保できない状況です。よっ
て、適切な指標があるにも関わらず採録しきれていない可能性もあります。書式とスペースの関係から、引用元に記載されていた文章の一部を要約、割愛している場合があります。県によって分野分類やロジックモデル構成の方針が異なるため、本表の記載配置場所がデータ源の
それとずれる場合もあります。県の指標につきましては、算出法を基準にしているため、分野によっては内容が細かく数が多いなどがあります。参考のためのリストと捉え、実際の使用に当たっては、目的とする中間アウトカムなどに重要性と関連性が高いものを重点的にご参照
ください

■分野6: がんの予防

施策アウトプット指標			中間アウトカム指標			分野アウトカム指標		
指標名	算出法	データ源	指標名	算出法	データ源	指標名	算出法	データ源
予4 受動喫煙の無い職場の場合	受動喫煙防止対策(全面禁煙又は、空間分煙)を講じている職場	労働安全衛生調査	予1 成人喫煙率	現在習慣的に喫煙している者(これまでにはたばこを習慣的に吸っていた者)のうち、この1か月間に毎日又は時々たばこを吸っている	国民健康・栄養調査	奈良 罹患率		
沖縄 県内飲食店の禁煙化率<代用> 県内飲食店の敷地内/施設内禁煙施設数		沖縄県、沖縄県禁煙施設認定推進制度禁煙施設一覧	予2 未成年者の喫煙率	「この30日に1日でも喫煙経験がある者」及び「毎日喫煙している者」	未成年者の喫煙・飲酒状況に関する実態調査研究	沖縄 年齢調整罹患率		沖縄県福祉保健部健康増進課、沖縄県環境生活部衛生環境研究所、平成22年度沖縄県がん登録事業報告(平成19年度の罹患集計)、平成23年9月沖縄県保健医療部、平成27年度沖縄県がん登録事業報告(平成23年(2011年)の罹患集計)、平成27年7月
沖縄 宿泊施設の敷地内/施設内禁煙施設数		沖縄県、沖縄県禁煙施設認定推進制度禁煙施設一覧	予3 受動喫煙の機会を有する者の割合	現在喫煙者以外の者が「この1か月間に自分以外の人が吸っていたたばこの煙を吸う機会があったか」という質問に対して「ほぼ毎日、週に数回程度、週に1回程度、月に1回程度」と回答し	国民健康・栄養調査	沖縄 年齢調整罹患率平均変化率		National Cancer Institute, Joinspect Trend Analysis Software
沖縄 保育所、学校等の敷地内/施設内禁煙施設数		沖縄県、沖縄県禁煙施設認定推進制度禁煙施設一覧	予5 B型・C型肝炎ウイルス感染(キャリア)率	B型・C型肝炎ウイルス感染者	肝炎ウイルス感染状況・長期経過と予後調査及び治療導入対策に関する	沖縄 医療県別超過罹患数		測定検討中
沖縄 公立学校(小・中・高校)における敷地内/施設内禁煙施設数		沖縄県、平成27年度教育長保健体育課調査	予6 B型・C型肝炎ウイルス抗体検査率	肝炎検査を受検した者	平成23年度肝炎検査受検状況把握事業	沖縄 市町村別超過罹患数		測定検討中
沖縄 官公庁の敷地内/施設内禁煙施設数		沖縄県、沖縄県禁煙施設認定推進制度禁煙施設一覧	予7 ヒト細胞白血病ウイルス1型感染率	ヒト細胞白血病ウイルス1(HTLV-1)に感染している者	厚生労働科学研究費補助金「本邦におけるHTLV-1感染及び関連疾患の実態調査と総合対策」			
沖縄 県内医療機関の敷地内/施設内禁煙施設数		沖縄県、沖縄県禁煙施設認定推進制度禁煙施設一覧、沖縄県保健福祉部、平成25年医療施設	予8 ハイリスク飲酒者の割合	1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者	国民健康・栄養調査			
沖縄 沖縄県禁煙施設認定推進制度における認定施設数		沖縄県、沖縄県禁煙施設認定推進制度禁煙施設一覧	予9 運動習慣のある者の割合	運動の実施頻度として週2日以上、持続時間として1回30分以上、継続期間として1年以上の運動習慣があると回答した者	国民健康・栄養調査			
沖縄 喫煙の健康影響を周知する市町村		測定検討中	予10 野菜と果物の摂取量	「1人1日当たりに摂取している野菜(緑黄色野菜以外も含む)の量」及び「1日当たりに摂取している果物の量」が100g未満の者	国民健康・栄養調査			
沖縄 妊婦教室等でHTLV-1の情報提供をしている市町村数		測定検討中	予11 食塩摂取量	1人1日当たりに摂取した食塩の量	国民健康・栄養調査			

第12回がん政策サミット【参考資料】分野別指標マップ例

●本表の目的 1)都道府県の第3次がん対策推進計画の分野目標の設定が、ストラクチャー指標やプロセス指標にとどまらず、アウトカム指標で計測される＝アウトカム志向になること。 2)次期がん計画策定に関わる六位一体の関係者が作業をする際の支援となること。 ●おこ
とわり 指標の設定については絶対的な正解はなく、このマップはがん政策サミット事務局による作業ですので、計画策定の際のひとつの参考としてご覧ください。都道府県の第2次がん対策推進計画中間評価については、すべてを閲覧できたことが担保できない状況です。よっ
て、適切な指標があるにも関わらず採録しきれていない可能性もあります。書式とスペースの関係から、引用元に記載されていた文章の一部を要約、割愛している場合があります。県によって分野分類やロジックモデル構成の方針が異なるため、本表の記載配置場所がデータ源の
それとずれる場合もあります。県の指標につきましては、算出法を基準にしているため、分野によっては内容が細かく数が多いなどがあります。参考のためのリストと捉え、実際の使用に当たっては、目的とする中間アウトカムなどに重要性と関連性が高いものを重点的にご参照
ください

■分野6: がんの予防

施策アウトプット指標			中間アウトカム指標			分野アウトカム指標				
	指標名	算出法	データ源		指標名	算出法	データ源	指標名	算出法	データ源
沖縄	喫煙者の禁煙外来受診割合 <代用> 喫煙者の禁煙外来 受診者割合		沖縄県.平成27年度 健康長寿課モニタリ ング調査	予12	適正体重を維持している者 の割合		国民健康・栄養調査			
沖縄	喫煙者のうち禁煙しようと思 う人		沖縄県.平成28年度 県民健康・栄養調査 実施予定	沖縄	妊娠中の喫煙率		沖縄県.平成26年度乳 幼児健康診査報告書			
沖縄	喫煙の健康影響について正し い知識を持つ人の割合		沖縄県.平成28年度 県民健康・栄養調査 実施予定	沖縄	県民一人あたりの年間タバ コ消費本数		沖縄県.平成27年度健 康健康長寿課モニタリ ング調査			
沖縄	肝炎ウイルス治療完遂率 <代用> ウイルス性肝炎治 療の医療費助成件数		沖縄県.平成26年度 肝炎治療促進事業 実績							
沖縄	精検受診率		測定検討中							
沖縄	HTLV-1は白血病を引き起 こす可能性であることを 知っている人の割合		測定検討中							
沖縄	HTLV-1は授乳で感染する ことを知っている人の割合		測定検討中							
沖縄	肝炎ウイルス検査数(B型・ C型)		沖縄県.平成26年度 特定感染症検査等 事業報告書 厚生労働省大臣官 房情報部.平成27年 度地域保健・健康増 進事業報告(健康増 進編)							
沖縄	肝炎ウイルス検診累積受 診率		測定検討中							
沖縄	ウイルス性肝炎治療の医 療費助成件数		沖縄県.平成26年度 肝炎治療促進事業 実績							
沖縄	「節度のある適度な飲酒 量」を知っている人の割合		沖縄県.平成28年度 県民健康・栄養調査 実施予定							

第12回がん政策サミット【参考資料】分野別指標マップ例

●本表の目的 1) 都道府県の第3次がん対策推進計画の分野目標の設定が、ストラクチャー指標やプロセス指標にとどまらず、アウトカム指標で計測される＝アウトカム志向になること。 2) 次期がん計画策定に関わる六位一体の関係者が作業をする際の支援となること。 ●おこ
とわり 指標の設定については絶対的な正解はなく、このマップはがん政策サミット事務局による作業ですので、計画策定の際のひとつの参考としてご覧ください。都道府県の第2次がん対策推進計画中間評価については、すべてを閲覧できなかったことが担保できない状況です。よっ
て、適切な指標があるにも関わらず採録しきれていない可能性もあります。書式とスペースの関係から、引用元に記載されていた文章の一部を要約、割愛している場合があります。県によって分野分類やロジックモデル構成の方針が異なるため、本表の記載配置場所がデータ源の
それとずれる場合もあります。県の指標につきましては、算出法を基準にしているため、分野によっては内容が細かく数が多いなどがあります。参考のためのリストと捉え、実際の使用に当たっては、目的とする中間アウトカムなどに重要性和関連性が高いものを重点的にご参照
ください

■分野7: がんの早期発見

施策アウトプット指標				中間アウトカム指標				分野アウトカム指標			
	指標名	算出法	データ源		指標名	算出法	データ源		指標名	算出法	データ源
早1a	市区町村における科学的根拠に基づくがん検診の実施状況: 指針に基づかないがん検診を実施している市区町村の割合	指針以外のがん種の健診を実施している市区町村	厚生労働省「市区町村におけるがん検診の実施状況調査」	早3	市区町村におけるがん検診の精度管理: 精検受診率・精検未把握率・精検未受診率・精検未把握率、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度(がん検診のプロセス指標)	●精検受診率●未把握率●精検未受診率●未把握率●がん発見率●陽性反応適中度	国民健康・栄養調査	沖縄	早期発見割合		
早1b	市区町村における科学的根拠に基づくがん検診の実施状況: 指針に基づくがん検診を実施している市区町村の割合	指針に基づくがん種の健診を実施している市区町村	厚生労働省「市区町村におけるがん検診の実施状況調査」	早5	がん検診受診率	がん検診を受検した者	国民生活基礎調査				
早2	市区町村におけるがん検診の精度管理: 「事業評価のためのチェックリスト」を実施している市区町村の割合(技術・体制的指標)	「事業評価のためのチェックリスト」を実施している市区町村	厚生労働科学研究の調査結果	鳥取	市町村が実施するがん検診における初回受診者	厚労省地域保健・健康増進事業報告で規定された初回受診者(過去3年間未受診者等)の数					
早4	市区町村のがん検診実施状況: がん検診コールリコール(個別受診勧奨・際勧奨)を実施している市区町村の割合	コールリコール(個別受診勧奨・再勧奨)を実施している市区町村の割合	国立がん研究センター予防・検診センター調査	鳥取	肝炎ウイルス陽性者の精密検査受診率		鳥取県健康対策協議会				
				沖縄	救命あたり検診費用		測定検討中				

第12回がん政策サミット【参考資料】分野別指標マップ例

●本表の目的 1) 都道府県の第3次がん対策推進計画の分野目標の設定が、ストラクチャー指標やプロセス指標にとどまらず、アウトカム指標で計測される＝アウトカム志向になること。 2) 次期がん計画策定に関わる六位一体の関係者が作業をする際の支援となること。 ●おこ
とわり 指標の設定については絶対的な正解はなく、このマップはがん政策サミット事務局による作業ですので、計画策定の際のひとつの参考としてご覧ください。都道府県の第2次がん対策推進計画中間評価については、すべてを閲覧できなかったことが担保できない状況です。よっ
て、適切な指標があるにも関わらず採録しきれていない可能性もあります。書式とスペースの関係から、引用元に記載されていた文章の一部を要約、割愛している場合があります。県によって分野分類やロジックモデル構成の方針が異なるため、本表の記載配置場所がデータ源の
それとずれる場合もあります。県の指標につきましては、算出法を基準にしているため、分野によっては内容が細かく数が多いなどがあります。参考のためのリストと捉え、実際の使用に当たっては、目的とする中間アウトカムなどに重要性和関連性が高いものを重点的にご参照
ください

■分野8: がんの教育・普及啓発

施策アウトプット指標				中間アウトカム指標				分野アウトカム指標			
	指標名	算出法	データ源		指標名	算出法	データ源		指標名	算出法	データ源
C7	小中学校でのがん教育実施率	「授業時間内でがんを題材にした教育を年1回以上実施した」教育機関の割合	今回は測定困難	C11a	拠点病院のがん患者の臨床試験への認知度	臨床試験に関して、「よく知っている」と答えた患者の割合	がん患者アンケート(患者体験調査)				
				C12	小学6年生のうち「早期発見・治療で治るがんがある」と回答した者の割合(がん)	「早く見つければ治るがんがある」と答えた者の割合	小学生・中学生へのアンケート調査(新データ)				
				C13	学校でならったがんについて家庭で話したことがある小学6年生の割合(がんに対する意識の変化)	家庭で学校でならったがんの知識についてはなしたことがある者の割合	小学6年生へのアンケート調査(新データ)				
				沖縄	正しい知識を持つ県民の割合	2人に1人はがんになるのを知っている人の割合 等	測定検討中				
				沖縄	正しい知識を持つ県民の割合	誰でも相談支援センターを利用できることを知っている人の割合 等	測定検討中				
				沖縄	正しい知識を持つ県民の割合	有効でない検診を知っている人の割合	測定検討中				
				沖縄	正しい知識を持つ県民の割合	検診で大腸がんの死亡を減少させざることを知っている人の割合 等	測定検討中				
				沖縄	喫煙の正しい知識を持つ県民の割合	喫煙の健康影響について正しい知識を持つ人の割合 等	測定検討中				

第12回がん政策サミット【参考資料】分野別指標マップ例

●本表の目的 1)都道府県の第3次がん対策推進計画の分野目標の設定が、ストラクチャー指標やプロセス指標にとどまらず、アウトカム指標で計測される＝アウトカム志向になること。 2)次期がん計画策定に関わる六位一体の関係者が作業をする際の支援となること。 ●おこ
とわり 指標の設定については絶対的な正解はなく、このマップはがん政策サミット事務局による作業ですので、計画策定の際のひとつの参考としてご覧ください。都道府県の第2次がん対策推進計画中間評価については、すべてを閲覧できなかったことが担保できない状況です。よっ
て、適切な指標があるにも関わらず採録しきれていない可能性もあります。書式とスペースの関係から、引用元に記載されていた文章の一部を要約、割愛している場合があります。県によって分野分類やロジックモデル構成の方針が異なるため、本表の記載配置場所がデータ源
のそれとずれる場合もあります。県の指標につきましては、算出法を基準にしているため、分野によっては内容が細かく数が多いなどがあります。参考のためのリストと捉え、実際の使用に当たっては、目的とする中間アウトカムなどに重要性と関連性が高いものを重点的にご参
照ください

■分野9: がん患者の就労を含めた社会的な問題

施策アウトプット指標			中間アウトカム指標			分野アウトカム指標					
指標名	算出法	データ源	指標名	算出法	データ源	指標名	算出法	データ源			
C19	時短勤務、在宅勤務制度等がん治療と就労の両立を支援している中小企業の割合(企業による就労支援体制)	休業補償/傷病手当制度とは別に個別相談、時短勤務、在宅勤務制度などの制度を設け、がん治療と就労の両立を支援している企業の割合	企業アンケート調査(新データ)商工会などに問い合わせ	全18a	がん患者自身が主体的にがん向き姿勢をもち、社会の一員であることを実感できること(家族からの孤立)	「問37.あなたはがんと診断されてから、家族から不必要に気を使われていると感じますか?」という問いに対し、1.よく感じる、または2.ときどき感じる、と回答した患者の割合	患者体験調査の間37	全18b	がん患者自身が主体的にがん向き姿勢をもち、社会の一員であることを実感できること(社会からの孤立)	「問38.あなたはがんと診断されてから、家族以外の人(友人、近所の人、職場関係者など)から不必要に気を使われていると感じますか?」という問いに対し、1.よく感じる、または2.ときどき感じる、と回答した患者の割合	患者体験調査の間38
				全14a	経済的な理由で治療をあきらめる人がないこと	「治療費の負担が原因で、がん治療を変更・断念したことがある」と回答した患者の割合	患者体験調査の間20	全17	家族のQOLも保たれていると感じられ、自分も安心できること(家族の支援)	「一般的に見て、がん患者の家族の悩みや負担を和らげてくれる支援・サービスがあると思う」と回答した患者の割合	患者体験調査の間41
				全14b	経済的な理由で治療をあきらめる人がないこと	「がんの最初の治療にかかった交通費は1回、往復でおおよそどのくらいの費用ですか」において最も多かった回答	患者体験調査の間22	全18a	がん患者自身が主体的にがん向き姿勢をもち、社会の一員であることを実施できること(家族からの孤立)	「がんと診断されてから、家族から不必要に気を使われていると感じたことがある」と回答した患者の割合	患者体験調査の間37
				全18c	がん患者自身が主体的にがん向き姿勢をもち、社会の一員であることを実感できること(職場での孤立)	「問25.そのとき働いていた職場や仕事上の関係者にがんと診断されたことを話しましたか。」という問いに対し、1.関係者に広く話した、または2.一部の関係者のみに限定して話した、と回答した患者の割合	患者体験調査の間24,25	全18b	がん患者自身が主体的にがん向き姿勢をもち、社会の一員であることを実施できること(社会からの孤立)	「がんと診断されてから、家族以外の人から不必要に気を使われていると感じたことがある」と回答した患者の割合	患者体験調査の間38
				C10e	拠点病院のがん患者のうち、治療中に社会からのがんに対する偏見を感じた」と答えた患者の割合(偏見)	「治療中、社会からのがんに対する偏見を感じた」と答えた患者の割合	がん患者アンケート(患者体験調査)	奈良	がんの治療を受けながら働き続けられる環境だと思う割合	ならのがんに関する患者意識調査(入院・通院患者)	
				C14	がん休職後の復職率(復職)	治療後に復職した人の割合	がん患者アンケート(患者体験調査)	沖縄	生活の不安を感じた割合	「がんと診断されたことを理由に、生活の不安を感じた」と回答した患者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課。「患者・家族のみなさまへ」
				C15	がん治療のために退職した患者のうち新規就労した者の割合	治療後に新規就労を希望した人のうち新規就労した人の割合	がん患者アンケート(患者体験調査)	沖縄	周囲の対応に傷ついた割合	「がんと診断されてから、周囲の対応が原因で傷ついたことがある」と回答した患者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課。「患者・家族のみなさまへ」
				C19a	就労とがん治療を両立させるために勤務先から支援が得られたがん患者の割合(企業による就労支援体制)	就労とがん治療を両立させるために勤務先から支援が得られたがん患者の割合(企業による就労支援体制)	がん患者アンケート(患者体験調査)				
				奈良	就労と治療に関する支援体制のある事業所の割合						
				沖縄	金銭的援助を受けた割合	治療費用の負担が原因で「親戚や他の人から金銭的援助を受けた」と回答した患者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課。「患者・家族のみなさまへ」				

第12回がん政策サミット【参考資料】分野別指標マップ例

●本表の目的 1)都道府県の第3次がん対策推進計画の分野目標の設定が、ストラクチャー指標やプロセス指標にとどまらず、アウトカム指標で計測される＝アウトカム志向になること。 2)次期がん計画策定に関わる六位一体の関係者が作業をする際の支援となること。 ●おこ
とわり 指標の設定については絶対的な正解はなく、このマップはがん政策サミット事務局による作業ですので、計画策定の際のひとつの参考としてご覧ください。都道府県の第2次がん対策推進計画中間評価については、すべてを閲覧できたことが担保できない状況です。よっ
て、適切な指標があるにも関わらず採録しきれていない可能性もあります。書式とスペースの関係から、引用元に記載されていた文章の一部を要約、割愛している場合があります。県によって分野分類やロジックモデル構成の方針が異なるため、本表の記載配置場所がデータ源
のそれとずれる場合もあります。県の指標につきましては、算出法を基準にしているため、分野によっては内容が細かく数が多いなどがあります。参考のためのリストと捉え、実際の使用に当たっては、目的とする中間アウトカムなどに重要性と関連性が高いものを重点的にご参
照ください

■分野9: がん患者の就労を含めた社会的な問題

施策アウトプット指標			中間アウトカム指標			分野アウトカム指標			
指標名	算出法	データ源	指標名	算出法	データ源	指標名	算出法	データ源	
			沖縄	貯金使用・借金実行の割合	治療費用の負担が原因で「貯金をとりくずした。または借金をした」と回答した患者の割合	沖縄県保健医療部保健医療政策課「患者・家族のみなさまへ」			
			沖縄		診断時に就労していたがん患者の雇用持続率	測定検討中			
			沖縄		就労していたがん患者家族の離職率	測定検討中			